正誤表

XMLスキーマについて修正を行っておらず、仕様説明書の記載の適正化等を行ったものであり、システム開発に影響を与えるものではない。

平成20年7月12日

	平成20年7月12日			
箇所	修正前	修正後	備考(掲載日付)	
p3 2.3.3	「特定健診授尾方ファイルXML スキーマ」	「特定健診情報ファイルXML スキーマ」	(2008/7/12)	
p8 3.2.1 補足説明3	hc08_v08.xsd とする	hc08_ <u>V</u> 08.xsd とする	(2008/7/12)	
p8 3.2.1 補足説明3 囲み内	/xsd/hc08_v08.xsd">	/ <u>XSD</u> /hc08 <u>_V</u> 08.xsd″>	(2008/7/12)	
p19 表9 No.9.4	多重度 01 選択性 M	多重度 01 選択性 O	XMLスキーマは正しい(2008/7/12)	
p23 表11 No.10.5~10.7	assigned <u>Entity</u> (Entityが全角文字)	assigned <u>Entity</u> (すべて英字半角)	XMLスキーマ・サンプルは正しい	
p41 表18 No 11.7 XPath	/ClinicalDocument/component/section /entry	/ClinicalDocument/ <u>component/structur</u> <u>edBody/</u> component/ section/entry	XMLスキーマ・サンプルは正しい (2008/7/12)	
p51 下から3行目	異常な値を呈したために検査ができな かった場合などが、該当する。	異常な値を呈したために検査ができなかった場合、生理中であり尿検査ができなかった場合などが、該当する。	例示の追加	
p13-14 表6 chargeTypeHumanDryDock/ maxInsuranceLimit および chargeTypeHumanDryDock/ maxInsuranceLimit/amount	人間ドックに関する <u>窓口負担上限額</u> が 設定されている場合のみ出現し必須・・・ 共に出現する場合は、 copayment/@code が「3」の場合に限る	人間ドックに関する <u>窓口負担に保険者 負担上限額</u> が設定されている場合のみ 出現し必須・・・共に出現する場合は、 copayment/@code が「2」「3」の場合に	表現の適正化等	
p16 表7 No.3.6.2.1	人間ドックに係る窓口負担 <u>の種別が保</u> <u>険者負担上限額の場合</u> 「4」を常に出力	人間ドックに係る窓口負担 <u>に保険者負担上限額が設定されている場合</u> 「4」を 常に出力	表現の適正化	
p17 表10 No.4.5.1	<u>詳細な</u> 健診項目の単価金額	<u>追加</u> 健診項目の単価金額		
p12 表8 利用券有効期限のXML仕様 No	<u>エラー! 参照元が見つかりません。</u>	9.4.1		
p12 表8 受診券 XPath p12 表9 No.9 受診券情報 XPath	participant[1]	participant[functionCode/@code=″1″]	表現の適正化	
p12 表8 利用券 XPath p13 表9−1 No.9 利用券情報 XPath	participant[2]	participant[functionCode/@code="2"]	表現の適正化	
p17 表11 No.10.5~10.7	assigned <u>Entity</u> (Entityが全角文字)	assigned <u>Entity</u> (すべて英字半角)	XMLスキーマ・サンプルは正しい	
p24 表19、p22 表22、p30 表23、p35 表26、p40 表29、p44 表32の各No 11.7のXPath	/ClinicalDocument/component/section /entry	/ClinicalDocument/ <u>component/structur</u> <u>edBody/</u> component/ section/entry	XMLスキーマ・サンプルは正しい (2008/7/12)	
p24 表19 No.11.10の前行のXPath	/ClinicalDocument/component/section /entry/act	/ClinicalDocument/ <u>component/structuredBody/</u> component/ section/entry/act	XMLスキーマ・サンプルは正しい (2008/7/12)	
p28~p29 表22、p40~p41 表29、p45 ~p46 表32~32−1の各 No.11.14、 No.11.17、No.11.18のXPath	effective <u>time</u>	effective <u>Time</u>	XMLスキーマ・サンプルは正しい	
p29 表22、p41表29、p46表32-1の各 No.11.18.2のXPath	@units	@unit	XMLスキーマ・サンプルは正しい	
p41 表29、p45 表32 No.11.19.3	Name/text()	name/text()	XMLスキーマ・サンプルは正しい	
p45表32−1の前段説明文			表現の適正化	
p12 表5 No.2.2	<u>insurer</u> Card	<u>insurance</u> Card	XMLスキーマ・サンプルは正しい	
p13-14 表6 healthGuidanceCard/ maxInsuranceLimitおよび healthGuidanceCard/ maxInsuranceLimit/amount	<u>額)</u> が設定されている場合のみ出現し必 須…共に出現する場合は、	合のみ出現し必須…共に出現する場合は、copayment/@codeが	表現の適正化等	
終了日」	observastionclassCode:(空欄)	XMLデータ型: <u>ST</u> actmoodCode: <u>EVN</u> observastionclassCode: <u>OBS</u> observastionmoodCode: <u>EVN</u>		
	p3 2.3.3 p8 3.2.1 補足説明3 p8 3.2.1 補足説明3 囲み内 p19 表9 No.9.4 p23 表11 No.10.5~10.7 p41 表18 No 11.7 XPath p51 下から3行目 p13-14 表6 chargeTypeHumanDryDock/maxInsuranceLimit および。chargeTypeHumanDryDock/maxInsuranceLimit/amount p16 表7 No.3.6.2.1 p17 表10 No.4.5.1 p12 表8 受診券 XPath p12 表8 受診券 XPath p12 表9 No.9 受診券情報 XPath p17 表11 No.10.5~10.7 p24 表19、p22 表22、p30 表23、p35表26、p40表29、p44表32の各No 11.7のXPath p24 表19 No.11.10の前行のXPath p28~p29 表22、p40~p41表29、p45~p46表32~32-1の各No.11.18。のXPath p29 表22、p41表29、p46表32-1の各No.11.18.2のXPath p41 表29、p45 表32 No.11.19.3 p45表32-1の前段説明文 p12 表5 No.2.2 p13-14 表6 healthGuidanceCard/maxInsuranceLimit/amount 番号1112「実施上の継続的な支援の格7日」 番号1112「実施上の継続的な支援の格7日」	p3 2.3.3	1 特定健診接尾方ファイルXML スキーマ 1特定健診情報ファイルXML スキーマ 1時定健診情報ファイルXML スキーマ 1時定健診情報ファイルXML スキーマ 1時の8人908 xed とする	